



しらねだいすけ

Shirane Daisuke
Four of policy 2022

埼玉県議会議員 (川口市)

2023 新春号

県政報告

やります！
できます！
届けます！



旧年中は大変お世話になりました。昨年は、県議会では埼玉県の今後5年間のプランを決める「埼玉県5か年計画特別委員会」の委員、並びに「9月定例会」の一般質問に登壇し、大野県政を前に進めるご提案を執行部にさせて頂きました。2040年には高齢者人口がピークになり、現役世代の負担増や様々な社会課題が山積となります。県内経済の生産性の向上やエッセンシャルワーカーの担い手不足の解消を含め待ったなしの状況です。しらねも引き続き、皆様の声を代弁すべく力強く実行できるよう頑張る所存です。



12月定例会閉会 埼玉高速鉄道岩槻延伸に向けて一歩前進へ

埼玉県議会12月定例会は、エネルギー価格・物価高騰等の影響を受ける事業者・県民への緊急支援策として約115億円とまた、埼玉高速鉄道の延伸に向けた取組の推進としての調査費や国の「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」に基づき、妊娠期から出産・子育てまでの一貫した支援、子供の安心・安全対策の強化、エネルギー価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への支援等の追加の補正予算約129億円等の53議案を可決し、22日に閉会しました。

<p>県内地域公共交通事業者に対する支援</p> <p>4億7,230万円</p> <p>概要 県内の乗合バス及びタクシー事業者の運行継続を引き続き支援するため、燃料費高騰の影響分を補助(6か月間分)</p> <p>補助対象等 > 補助対象: 乗合バス 2,400台 タクシー 5,900台 > 対象期間: 令和4年10月から令和5年3月まで</p> <p>県内医療機関等に対する支援</p> <p>38億3,670万円</p> <p>概要 光熱費等の価格高騰の影響を緩和するため、緊急的措置として県内医療機関等に対し補助</p> <p>補助内容 > 病院、有床診療所、分娩取扱助産所: 45,000円/床 > 無床診療所(歯科含む)、調剤薬局: 40,000円/施設 > 施術所(あん摩マッサージ指圧はりきゅう、柔道整復): 20,000円/施設</p>	 
---	--

<p>省エネ・再エネ設備導入に向けた県内中小企業等に対する支援</p> <p>10億3,127万6千円</p> <p>概要 高騰する光熱費等の影響を緩和し、エネルギー使用量やCO2排出量の削減を加速させるため、中小企業等の省エネ・再エネ設備の導入費用の一部を補助</p> <p>補助内容 > 対象者: 中小企業等 > 補助率: 2/3 (蓄電池を伴わない太陽光発電設備は1/3) > 補助上限額: 500万円 > 補助対象: 空調、ボイラー等の高効率化 蓄電池と組み合わせた太陽光発電設備の導入</p> <p>空調設備 ボイラー 太陽光発電設備+蓄電池</p>	  
---	--

補正予算のポイント！

- 埼玉高速鉄道延伸に向けた取組の推進 (鉄道事業者への要請に向けた調査の実施)
※ボーリング調査が早期に終わり、令和4年度中に計画策定に着手が可能になりました。
- 妊娠届出時や出産届出を行った妊婦等に対し、出産・育児関連用品の購入費等の助成を図る経済的支援 (計10万円相当) を一体として実施する事業を支援する。
- 静岡県牧之原市の通園バス女児置き去り事故を受け、車内園児の置き去り確認を怠ると、15分以内に車外へ警報を発するよう定め、装置の故障を検知して知らせるシステムへの補助。
- 障害通所支援事業所の送迎車両、登降園管理システム、ICTを活用した障害児の見守り支援等。

キャッシュレス決済の推進 埼玉県証紙条例等を廃止

しらねの所属する企画財政委員会では、運転免許証更新の手数料や入学試験の受験料を支払う際、現金の代わりに納めることができる埼玉県証紙条例を廃止する等の条例(案)を審議・議決し、収入証紙は令和5年12月末で販売を終了し、使用期限は令和6年3月末まで、また同期間からキャッシュレス決済が始まります。ちなみに、収入証紙の利用割合の6割を占めるのが運転免許証の新規発行料や更新料であります。しらねの質疑で、窓口払いで現金は取り扱わないもの、しばらくの間は現金での銀行振込やコンビニ払いを検討することが判明しました。他県では現金とキャッシュレスを併用した場合8割の方は現金払いとの事です。

<p>証紙制度の廃止</p> <p>埼玉県証紙条例を廃止する等の条例(案)</p>	<p>証紙の販売は 令和5年12月末日まで</p>	<p>証紙の使用期限は 令和6年3月末日まで</p>	<p>未使用証紙の還付は 令和10年12月末日まで</p>
<p>キャッシュレス化</p> <p>電子申請できる → 電子申請 + クレジットカード又はペイジーでの支払い</p> <p>電子申請できない → 窓口 + クレジットカード、デビットカード、電子マネー又はQRコードでの支払い</p>			
<p>令和4年度</p> <p>証紙廃止</p> <p>キャッシュレス化</p>	<p>廃止条例(案)12月</p> <p>キャッシュレス決済手段等の検討</p>	<p>令和5年度</p> <p>販売終了12月 使用終了3月</p> <p>証紙に代わる収納開始</p> <p>キャッシュレス端末の整備 試験運用・運用開始</p>	<p>～令和10年12月</p> <p>未使用証紙還付</p>

情報技術の活用とDXの推進について

しらねの所属する地方創生・行財政改革特別委員会では、大野知事の肝いり施策である情報技術の活用と地方創生・行財政改革特別委員会では、情報技術の活用とDX推進について、執行部から説明後、質疑応答が行われました。しらねからは、9月定例会の一般質問でも扱ったAIチャットボットについて質疑しました。AIチャットボットの利用率ですが、アクセス数（令和3年は約28万件）を指標としておりますが、県民にとっては、問い合わせの解決率が大事であり、一般質問の答弁では35%という極めて低い値になっております。AIと言う特性は、「過去の情報の蓄積によって判定するため、新しい事柄がチャットボットに入力された場合に解決できないという問題」があります。執行部側からは、「AIの機能を改善させるのは容易ではなく、そもそも県民からの問い合わせを解決する手段としてふさわしいかどうか今一度検討し、埼玉県独自で構築した検索エンジンの更なる活用をしていきたい。」と答弁を引き出しました。しらねは一般質問で、このAIチャットボットより、検索エンジンの利用の方が的確な回答が出る事を指摘し改善を要望しました。

次に、行政手続きのオンライン化の進捗状況について説明があり、オンライン手続き利用率は令和3年度で28.3%という結果でありました。ただ、利用率が上がらないのは、戸籍記載事項の添付を必要とする等、法令でオンライン化を進めようとしても阻害要因となっている部分があるとのこと。私からは、具体的にどの部分が、またどのくらいの阻害要因があるのかと質疑した所、現在調査しているとの回答があり、早期の調査して改善を図り、他部局との連携強化を求めました。

AIを活用した主な事例

- AIチャットボット「埼玉コンシェルジュ」
アクセス数 約3.3万件 (R2) → **約28万件 (R3)**
- 庁内ヘルプデスクAI
アクセス数 約3.6万件 (R2) → **約5.2万件 (R3)**

(1) 行政手続のオンライン化

時間の制約がなく、パソコン等から気軽に申請できる利便性から、利用件数は年々増加。コロナ禍では「対面せず非接触で申請ができる」安全性も注目され利用が増加。

手続のオンライン化の進捗状況

- 行政手続のオンライン化率
53.3% (R3年4月) → **67.3% (R4年4月)**
- オンライン手続の利用率
21.5% (R2年度) → **28.3% (R3年度)**

コロナ禍における主な活用例

- 新型コロナウイルス感染症の療養証明書発行申請
- 新型コロナウイルス抗原検査キットの配布申込

電子申請システム利用件数



2 県民サービスの向上

- 現在、行政手続の3分の2がオンライン化している
- 戸籍記載事項の添付を必要とする等、オンライン化できない行政手続がある
- オンライン利用率も年々高まっているが、申請に占める割合は3割未満にとどまる
- スマートフォンアプリ「ポケットブックまいたま」のダウンロード数は約83万件 (R4.9月末)
- 本年11月から県LINE公式アカウントに移行

- オンライン化を更に速めるため、阻害要因の解消を図る
- 申請のワンストップ化（1度入力した情報は、次回以降入力を省略）やワンストップ化などワンストップ化の利便性を図る
- オンライン申請を利用できない方のため、申請方法の選択肢の確保や、民間と連携したデジタル活用サポート等を実施
- 幅広い年齢層が利用するLINEへの移行を機に、登録者の拡大を目指す
- 魅力ある情報発信の継続とともに、ニーズの高い防災情報の発信機能を追加

年明け以降の観光応援キャンペーンの実施について

■ 「2023 全国版 旅して！埼玉割」観光応援キャンペーンの実施
全国的な観光キャンペーンである全国旅行支援の埼玉県版、年内までの全国旅行支援から割引率等を変更し、令和5年1月10日（火）から令和5年3月31日（金）までの期間で実施。

■ 「とくとく埼玉！」観光応援キャンペーンの延長
令和4年12月27日（火）までの期間で実施している埼玉県独自の観光応援キャンペーン「とくとく埼玉！」観光応援キャンペーンを、クーポン券の配布額を最大2千円に増額して、令和5年1月10日（火）から令和5年2月28日（火）までの期間で実施。

※詳細はHPをご覧ください

薬局、インターネット等での抗原定性検査キット購入について

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時流行すると、発熱外来が逼迫する可能性があります。発熱等の体調不良時に備えて、あらかじめ新型コロナウイルスの抗原検査キットや市販（OTCの解熱鎮痛薬を購入し、自己検査やセルフケアの準備を埼玉県では事前購入を呼びかけております。新型コロナウイルス抗原検査キットの取扱店舗リスト（厚生労働省ホームページ） GoogleMapで取扱店舗が検索できます。

Profile ~しらねだすけの足跡~ 実績：SRと東京メトロの一日乗車券値下げ、屋内50Mプール川口市に設置 洪水ハザードマップの推進、あんしん賃貸住宅の拡充等、(仮)川口北警察署の新設

1979年5月13日生まれ、川口市朝日出生、十二月田（しむすだ）小・中学校卒業、正則学園高校卒業、ボストン大学（政治科学学部）卒業<留学中マンチェスター市市長室でインターン経験>、富士通（株）入社し、営業とSEのビジネス支援部隊に配属→退社、2007年の統一地方選挙で市内交通網（特に、コミュニティバス路線網）の再構築、市議会の見える化など市政の改善を目指し市議会議員に立候補、2位(4764票)で市議会最年少(27歳)当選を果たす。鳩ヶ谷から埼玉県議会議員選挙立候補するも惜敗。捲土重来を期し、翌日から活動、石田勝之元衆議院議員秘書を経験し、2015年合併後初の新川口市選挙区で埼玉県議会議員に立候補するも次点、大野もとる参議院議員事務所スタッフ。朝日2日副副会長歴任。2019年の埼玉県議会議員選挙で初当選。現在：学習塾等を経営、川口市消防団員、川口市立十二月田中学校同窓会会長、NPO法人メディアヘルスケア療法協会顧問、川口むさし野RC、川口YEG、川口市ワンパウンドふらば〜るバレエ参与、(公社)川口青年会議所卒業【令和4年度：企画財政常任委員会、地方創生・行財政改革特別委員会 所属】

埼玉民主フォーラム川口支部
〒332-0001 川口市朝日2-17-7
TEL:048-229-0461 FAX:048-229-0462
http://www.d-shirane.jp